

2022年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2023年2月23日(木・祝)	実施ブロック	第1ブロック	参加人数	93名
会場	足立区生涯学習センター				
大会名	ブロック審判講習会				
指導員名	岩崎浩一、平瀬まさみ				

指導会当日の概要

- ・少年連盟1Bに対する2022_2023競技規則改正説明会を実施。
- ・9時30分 受付 10:00～12:00 講義 ①競技規則改正説明会:岩崎 ②ドロップボール講義:平瀬
- ・参加者:1B所属チーム関係者86名(57チーム) 1B審判員 7名(責任者:米沢氏)
- ・受講態度も良く真剣に受講して、質問も活発で有った。
- ・ブロック審判員がスタッフをつとめてスムーズな運営が出来ていました。

ブロックコメント

- ・第1ブロック所属チームから選出された部長、副部長、東京派遣審判、部員 計10名で審判部を構成している。
- ・ブロック大会審判活動【ベスト8の主審及び4審、ベスト4以上の主審・副審・4審】、ブロック審判講習会の運営を行っている。
- ・チーム帯同審判員も選手父親審判員が多いので、低学年からやっていて子供が6年生になって上達するが、子供の卒業と同時にサッカー(チーム)から離れてしまう。
- ・試合では、4人のクルーで可能な限り、試合前に打合せを行い、4人で協力して行うようにしている。
- ・審判講習会(年1回)を行うので引き続き、東京都審判育成員にご協力いただきたい。

指導員コメント

- ・競技規則改正説明会での育成指導会で有ったが1Bの組織的な統制は米沢氏のリーダーシップとブロック審判員の良い連携が十分に感じられました。:岩崎 浩一
- ・受講生は意欲的な態度であった。質問内容は、競技規則に書かれていることもあり、このような説明会では難しい内容より、基本的な競技規則の話をしたほうが良いと感じました。:平瀬まさみ

指導会写真



2022年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2023年1月28日(土)	実施ブロック	第16ブロック	参加人数	18名
会場	赤羽スポーツの森公園競技場				
大会名	女子審判員初心者実技研修会				
指導員名	塩家利孝、川澄正史、平瀬まさみ、				

指導会当日の概要

- ・9時30分 開講式
- ・10時から16時まで実技指導。2面にて各15試合、計30試合。審判3人制。
- ・試合は、6Bの少年チームによる15分1本マッチ。
- ・指導員3名+青山氏の計4名で23試合を観戦。試合直後にミーティングルームにて振り返り指導。
- ・トレース等を記録して指導時に利用し、主審に差し上げた。
- ・参加審判員18名は、各自の都合に合わせて適宜終了解散。
- ・女子部審判員が受付・進行に協力されていた。

ブロックコメント

- ・2022年度活動状況：7月 岩崎浩一講師によるハトマークフェアプレーカップ観戦&フラッグテクニク講習会実施。
9月 女子審判初心者ズーム研修会実施。
11月 女子審判観戦&実技研修会実施。
- ・懸念事項：ブロック審判部に所属していない女子審判が多数いるが、技術指導を受ける機会が少ない。
- ・審判育成指導事業への要望、提案、他
 - ・本来、育成指導会はブロックが依頼するものだが、女子審判は女子のみで一同に会し、少人数グループ制でベテラン育成指導者にアドバイスをもらうやり方の方が上達がはやい。

指導員コメント

- ・低気温の日でしたが雨はなく、北風も強風という程ではなかった。
- ・開講式では、塩家部長代理および川澄育成主任が挨拶した。閉講式はなく全体へのコメントは行っていない。
- ・参加審判員18名のモチベーションは高く、それぞれが真剣に試合に集中した。
- ・同じ審判クレーを3回ほど指導したため、振り返りは次の試合に有効であった。
- ・試合を重ねる毎に明らかに技術が向上していた。
- ・同指導員が同じ審判クレーを複数回指導するやり方は特に初心者・初級者に効果的と考えられる。

指導会写真

